

競 技 注 意 事 項

1. 規 則

競技は、2017年度日本陸上競技連盟規則、及び本大会要項、申し合わせ事項に準ずる。

2. 練 習

- ①練習は、危険防止に十分注意して行う。
- ②男女の砲丸投、円盤投、ジャベリックスローの練習は、競技開始前に審判の指示により競技場内で行う。

3. 招 集

- ①招集所は、100mスタート付近雨天走路とする。
- ②招集に遅れた者は棄権とみなし、出場を許可しない。
- ③招集時間及び完了時間は競技日程を参照すること。
- ④招集完了時間の5分前までに本人が招集を受けること。
- ⑥トラック競技者は競技者係から腰ナンバーカードを受け取り、右腰のやや後方に安全ピンでしっかり留める。

4. 入退場

- ①競技場への入場については競技者係の指示に従う。
- ②トラック競技は、レース終了後腰ナンバーカードを係りに渡し、スタンド裏側及びバックストレートを通して各校の待機場所に戻ることに。
- ③フィールド競技は、競技終了後審判員の指示で退場する。

5. 競技靴

スパイクのピンの長さは9mm以下、但し走高跳は12mm以下とする。

6. ナンバーカード

- ①ナンバーカードは千葉県小中学校体育連盟陸上競技専門部指定のものを使用する。
- ②ナンバーカードは胸と背にしわにならないように四隅をしっかりとつけ、切ったり曲げたりしてはならない。但し、走高跳・走幅跳については1枚を胸または背のどちらかにつけるだけでよい。

7. 走高跳のバーの上げ方

走高跳におけるバーの上げ方は次の通りとする。

種目	練習	1	2	3	4	5	6	
A 男子走高跳	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m83	1m86	以上の高 ては審判
A 女子走高跳	1m35	1m40	1m45	1m48	1m51	1m54	1m57	

8. レーン及び走路順

- ①トラック競技の組、走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムの数字で示す。
- ②セパレートレーンで行う競技で、全レーンを使用しない場合は、常に第1レーンをあけて第2レーンより使用する。

9. 計 時

競走競技は全て写真判定を採用する。

10. 用器具

全て競技場備え付けの物を使用する。但しジャベリックスローについては主催者側で用意した物を使う。

11. 抗議

抗議申立書と預託金10,000円を添えて総務に提出すること。

12. その他

- ①本大会は、第47回ジュニアオリンピック陸上競技大会の選考会を兼ねる。ジュニアオリンピックについては、参加標準記録を突破（公認記録）している者は無条件で出場できる。突破種目のない種目については本大会の最上位者を千葉県推薦者として出場させる。本大会以降に、標準記録を突破しても出場は認めない。
- ②本大会のリレーチームについては、県選抜チームとして各学年2名を県小中体連陸上競技専門部強化委員会で選考する。選手選考にあたっては、県通信・県総体・関東大会・全国大会・最終選考会の記録を参考に選考する。
- ③トラック競技において出場者の多い種目については、選考レースと記録会レースに分けて実施する。選考レースのメンバーについては、千葉県小中学校体育連盟陸上競技専門部で選考する。
- ④各自の持ち物は各自が責任を持って管理すること。
- ⑤ゴミは必ず持ち帰ること。
- ⑥競技中に発生した事故などの応急処置は主催者側で行うが以後の責任は負わない。
- ⑦ハードル種目の規格

クラス	高さ	ハードル間	クラス	高さ	ハードル間
A男子	0.991m	9.14m	A女子	0.762m	8.50m
B男子	0.914m	9.14m	B女子	0.762m	8.00m

⑧投てき物の重量

クラス	男子		女子	
	種目	重量	種目	重量
A	砲丸投	5.000kg	砲丸投	4.000kg
B	砲丸投	4.000kg	砲丸投	2.721kg
ABC	円盤投	1.5kg	円盤投	1.0kg
共通	ジャベリック	0.300kg	ジャベリック	0.300kg